



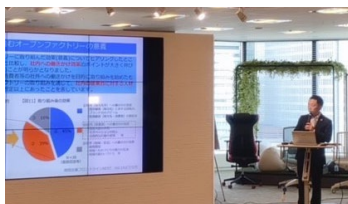
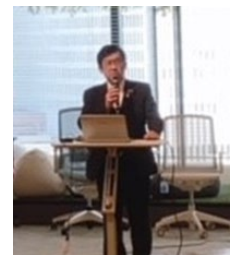
関西オープンファクトリーフォーラム

Vol.4 作り手が躍動する関西のサードプレイス を開催しました！

関西には様々な地域一体型オープンファクトリーが躍動しています。地域一体型オープンファクトリーが生み出すイノベーション、そして大企業をはじめとした外部リソースとの協業可能性を探るためにフォーラムを開催致しました。以下、概要を報告します。

- 日時** : 令和3年3月11日(木) 13:00~17:00
会場 : オンライン配信(撮影会場：株式会社オカムラ関西支社内
Open Innovation Biotope “bee”)
主催 : 経済産業省近畿経済産業局（事務局：株式会社地域計画建築研究所）

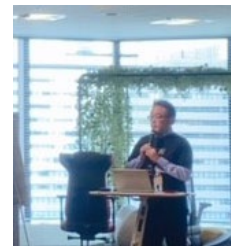
近畿経済産業局 米村局長より「オープンファクトリーは人づくり」とであると立言。「魅せるための自発的学び」を起点にした社内における好循環、そして地域で広がり、繋がりを意識したオープンファクトリーの更なる誕生に期待を示した。そして、当イベントが関西各地のキープレイヤー同士の交差点となる出会いの場の創出として、そしてこのムーブメントが更に広がることへの期待を込め、本フォーラムの成功を祈念する旨の挨拶を行いました。



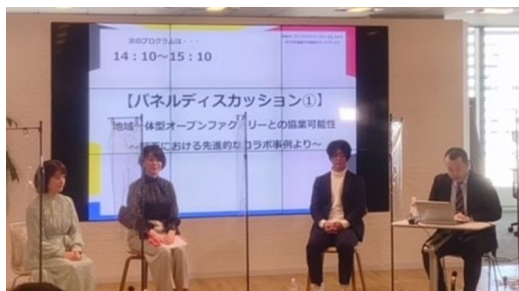
続いて近畿経済産業局 津田係長より、関西のオープンファクトリーにおける調査結果として「5つの要件」と「パラメータ」について報告。関西各地で生まれる様々なイノベーションの事例を交えながら、各地にオープンファクトリーの新たな兆しが生まれていることを紹介しました。

【基調講演】 交流が生み出すイノベーション ～078KOBE～

基調講演は様々なイノベーションが誕生している「078KOBE」より藤井実行委員長(神戸大学准教授)のご登壇。様々な大企業に「実証実験の場」として活用されている078KOBEで、実際に生まれた協業事例や今後の可能性についてご講演いただき、各地で活性化している地域一体型オープンファクトリーにも役立つポイントをご紹介いただきました。



【パネルディスカッション①】 コラボレーションを阻む「壁」と推す「未来」



株式会社アーバンリサーチの宮氏から「JAPAN MADE PROJECT」、株式会社オカムラの岡本氏から「共創空間Open Innovation Biotope “bee”」、南海電気鉄道株式会社の仲矢氏から「沿線価値創造」の取組についてご紹介いただき、協創相手としての中小企業の魅力について意見を交わしました。

【パネルディスカッション②】 地域一体型オープンファクトリーからみる「協業」

RENEWから新山氏、DESIGN WEEK KYOTOから北林氏、みせるばやおから松尾氏にご登壇いただき、それぞれの地域一体型オープンファクトリーについてご紹介いただきつつ、お互いの取組を学び合う（真似び合う）価値と重要性について意見を交わしました。



【総括雑談】 登壇者全員での意見交換



実際に交流したい先として「みせるばやお」から「078KOBE」に指名が入るなど、次年度以降に向けて地域間、そして企業間の交流への期待を語って頂きました。最後に近畿経済産業局より関西各地で新たに始まる地域一体型オープンファクトリーの潮流を紹介し、次年度以降は「テクニカル・ビジット」と「グッド・イミテーション」という観点で支援の方策を検討していきたいと提案しました。